

平成26年6月18日
東京二十三区清掃一部事務組合

中央清掃工場2号炉再稼働における水銀濃度上昇について

この度、水銀混入ごみの不適正搬入を原因として停止していた中央清掃工場において、2号焼却炉再稼働の際に、排ガス中の水銀濃度が上昇し、下記のとおり最大で0.087 mg/m³Nとなる事象が生じました。

当組合では、水銀混入ごみにより停止した焼却炉再稼働の際、焼却炉内等の清掃を行っても完全に水銀が除去することができないことから、環境負荷を最小限に止めるため排ガス中の水銀濃度0.05 mg/m³N^{※1}を逸脱しないよう操作手順を定めております。

しかしながら今回の事象は、焼却炉再稼働時の操作に連絡体制の不十分な点があったことにより発生いたしました。今後このようなことのないよう再発防止に全力をつくします。

なお、再稼働時に排ガス中の水銀濃度が0.05 mg/m³Nを超えても、周辺地域に環境汚染や健康被害を生じることはありません。

記

- 1 立上げ開始日時 平成26年6月10日(火) 13時00分
- 2 立上げ完了日時 平成26年6月11日(水) 15時27分
- 3 水銀濃度上昇時間 平成26年6月11日(水) 3時00分～8時00分
- 4 水銀濃度
最大値 0.087 mg/m³N
最小値 0.055 mg/m³N

その他の時間帯は、0.05 mg/m³N以内でした。

※1 排ガス中の水銀に関して法律による排出基準はありませんが、東京二十三区清掃一部事務組合の清掃工場においては稼働時に0.05 mg/m³N(自己規制値)を定め、その遵守を徹底しています。

【問い合わせ先】

施設管理部技術課
電話 03-6238-0745